

印西市の部活動地域移行について

【部活動改革（地域移行）の施策】

令和4年12月『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン』
(スポーツ庁・文化庁)

令和5年 3月『地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方
に関するガイドライン』(千葉県教育委員会)

【全国的な部活動の課題】

少子化が進み、将来的に学校単位での部活動の運営が困難
働き方改革の中で、専門的な指導経験のある教員が顧問を務める体制が困難

【印西市の部活動の実態・課題】

大規模校と小規模校が混在しています。

- ・ひとつの部活動あたりの部員数（多：80人／少：2人）の格差
- ・学校ごとの設置部活動数の格差
 - 部員数が少ない → 休部や廃部が進み、選択できる種目が少ない
 - 部員数が多い → 部活動の新設を考えても十分な活動場所がない
- ・性別的部活動の設置の格差
(例) 女子バレーボール部はあるのに、男子バレーボール部はない
- ・学校施設の格差
活動したくても体育館等の施設に余裕がない学校と空いている学校がある
- ・自分の学校にやりたい種目の部活動がない

- 持続的に、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の確保
- ⇒ ○地域のスポーツ・文化資源、人材の活用と生徒のニーズに応じた多様な活動
- 社会全体、地域全体でスポーツ・文化芸術活動の環境や機会の保障

【印西市の部活動地域移行の方針】

現在、休日に活動のある部活動の種目【陸上競技・野球・サッカー・バスケットボール（男女）・卓球（男女）・バレーボール（男女）・バドミントン（男女）・硬式テニス（男女）・ソフトテニス（男女）・柔道・剣道・吹奏楽】を地域クラブ化していき、令和8年9月から本格的に部活動地域移行を実施します。地域クラブの活動費の一部をご家庭からの負担で運営していきます。

前段階のモデル事業として、令和7年9月から令和8年8月まで野球と女子バレーボールの2種目を段階的に地域移行していきます。このモデル事業にかかる活動費は市費で負担します。

【学校部活動と地域クラブ活動】

部活動への入部も地域クラブ活動の登録・参加も任意の活動です。
部活動地域移行が進んでいくと、平日の部活動と休日の地域クラブで2種目のスポーツや文化芸術活動に取り組むことができるようになり、放課後の時間の使い方や休日の過ごし方が、自分のライフスタイルに合わせて選択できるようになります。学習面や他の習い事と両立しながら地域クラブ活動に参加することもできます。

＜部活動と地域クラブの参加例＞

パターン①

平日の学校部活動は参加せず、休日の地域クラブ活動に参加する。

パターン②

平日の学校部活動に参加し、休日の地域クラブ活動には参加しない。

パターン③

平日の学校部活動に参加し、同じ種目の休日の地域クラブ活動に参加する。

(例) 平日はバレーボール部に所属し、休日はバレーボールの地域クラブに登録

パターン④

平日の学校部活動に参加し、違う種目の休日の地域クラブ活動に参加する。

(例) 平日はバドミントン部に所属し、休日はバレーボールの地域クラブに登録

※『地域クラブ』は、生徒に持続可能なスポーツ・文化芸術活動に触れる機会を設けるため、休日の部活動の受け皿として印西市が設定するクラブです。

※競技力向上や上位大会の進出を目指す場合、地域クラブではなく、既存のクラブチームへの所属や参加も考えられます。

【部活動地域移行の進捗状況の周知】

印西市の部活動地域移行に関する進捗状況や新しい情報は、スクリレ“自治体のお便り”で部活動地域移行リーフレットを配信しておりますのでご確認ください。



【部活動地域移行の説明会】

令和7年4月13日(日) 地域クラブ活動登録希望者(生徒・保護者)向けの説明会を印西市文化ホールで企画しております。基本的にモデル事業の野球・女子バレーボールに登録し活動しようとしている家庭を対象としておりますが、印西市の部活動地域移行に興味・関心がある方も参加していただけます。

【部活動地域移行に関する問い合わせ先】

印西市教育委員会指導課 TEL 0476-33-4705
✉ sidouka@city.inzai.chiba.jp

